
赤潮警報解除(シャットネラ アンティーカ)

鹿児島県水産技術開発センター
平成30年9月5日

八代海赤潮警報続報 No. 1 - 3

八代海の本県海域では、シャットネラ アンティーカの細胞密度が減少したことから、8月23日付けの赤潮警報(シャットネラ アンティーカ)は解除します。

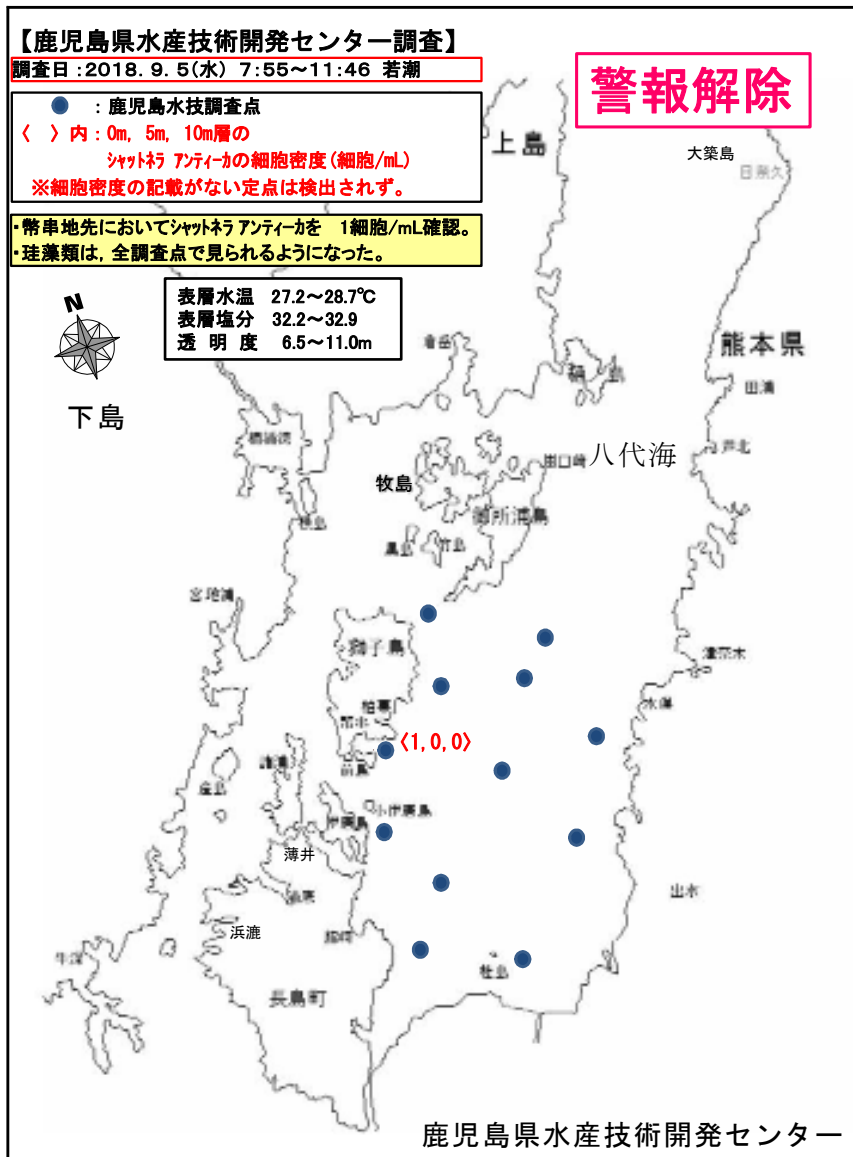
[1] 9月5日の調査結果

県水産技術開発センターによる八代海南部での調査では、シャットネラ アンティーカは幣串地先で1細胞/mL確認されたのみでした。珪藻類は、全調査点で見られるようになってきました。

[2] 今後の赤潮発生の予想

八代海では、本種は減少しほぼ確認されなくなってきました。また、競合種である珪藻類も見られるようになり、今回の本種による赤潮は終息状態にあると考えられます。

しかしながら、わずかながらも本種の細胞が存在することから、各漁協・養殖業者におかれましては、今後も定期的な検鏡を継続するなど、十分な監視をお願いします。



※シャットネラ アンティーカの特徴

- ・ 適水温23~26°C,
- ・ 適塩分30以下
- ・ 魚毒性がきわめて強く、致死細胞密度はブリ類で30~50細胞/mL

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

